

(第3種郵便物認可)

プレ開催で『メッセンジャー』と対面する来場者と児島代表(左)=6日、大和郡山市柳3丁目の「イトブン」



交通事故や犯罪、いじめなどで命を奪われた被害者の身長と同じ高さに切り出された人型パネル(メッセンジャー)で命の重さを伝える、全国巡回アート展「生命(いのち)のメッセージ展(ミニ版) in 柳町商店街」がきょう13日から、大和郡山市の柳町商店街で開かれる。4月4日まで。

大和郡山でメッセージ展

犯罪など被害者の等身大人型パネル

一人一人の姿、リアルに

命の重み感じて

同商店街と市、市教育委員会がNPO法人いのちのミュージアム・NPO法人KENTOの協力で開催。これまで市内の小中学校で開いてきた

4月4日
来ま

が、今回はさらに多くの人が『メッセンジャー』と出会うよう「まちなか」で開催する。本開催に先立ち、6、7日

写真や家族の思い添え

の両日は同商店街の制服専門店「イトブン」(北谷朋之社長)でプレ開催が行われ、近隣で開催中のイベントの参加者や新しい制服を引き取りに同店を訪れた親子らが『メッセンジャー』と対面した。プレ開催では『メッセンジ

「まちなか」柳町商店街で

ヤー』に生前の写真と靴、命を奪われた経緯や家族の思いなどを添えた20体を展示。五

条市から来場した田代扶沙恵さん(40)は長女沙有希ちゃん(6)が自分と年齢の近い『メッセンジャー』に関心を寄せる姿に「背の高さが分かるパネルと履いていた靴を通して、一人一人の実在がリア

ルに感じられる。命の重さが子どもにもストレートに伝わる展示だと思う」と話した。

NPO法人KENTOの児島早苗代表(奈良市)は「プレ開催では小学校時代に『メッセンジャー』と出会った中学生との偶然の再会もあった。本開催を通して、日常の中での出会いをさらに広げたい」と多くの来場を呼び掛け

本開催は同店とユミバ鳳凰堂郡山店で実施。午前10時から午後5時開場。計30体を展示。同店は期間中無休。ユミバ鳳凰堂郡山店は木曜と4月3、4日休み。入場無料。

問い合わせは同商店街、電話090(1486)5200。